

* 本メールは、関東更生支援ネットワークにご登録いただいた方々に bcc で一斉配信しております。

~~~~~

## 目次

- 1 今月の再犯防止トピックス  
「関東更生支援ネットワーク会員限定セミナー開催します！」
- 2 再犯防止・更生支援ワード解説コーナー Vol.3  
「犯罪白書」「再犯防止推進白書」ってご存じですか？
- 3 更生コラム「アスキザス」Vol.5  
～渋沢栄一～
- 4 お知らせコーナー  
「関東更生支援ネットワークの愛称募集について」

~~~~~

1 今月の再犯防止トピックス

「関東更生支援ネットワーク会員限定セミナー開催します！」

関東更生支援ネットワーク発足から半年あまりが経過し、おかげさまで会員数も増え、1月現在は111名の方・組織にご参加をいただいております。

新型コロナウイルスはまだ予断を許さない状況ではありますが、本ネットワーク事務局としては、このメルマガ配信のみならず、会員の皆様に可能な範囲でお集まりいただき、一緒に罪を犯した人たちの更生支援・再犯防止を考える機会を設けたい！ということで、以下のような会員限定セミナーを実施することにしました！

関東更生支援ネットワーク 第1回再犯防止・更生支援セミナー

「罪を犯した女性の現状と、社会復帰に必要なもの」

1 日時

令和4年3月2日（水）13時30分～16時00分

2 場所

東京矯正管区 協議室1

さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館13階

（JR「さいたま新都心」駅より徒歩10分）

3 内容

第一部 講演・実践報告 13:30～14:30

「罪を犯した女性の現状と課題」東京矯正管区 矯正専門職 滝山 直樹

「女子受刑者の現状と栃木刑務所の取組」 栃木刑務所 統括矯正処遇官 中村綱希

「女子少年の現状と榛名女子学園の取組」 榛名女子学園 社会福祉士 古手真理子

第二部 パネルディスカッション 14:45～15:30

「罪を犯した女性の社会復帰に必要なモノとは？」

第一部登壇者に、さいたま少年鑑別所地域非行防止調整官前田将太氏を加え、

罪を犯した女性の社会復帰に必要なモノは何か、会場の皆様と一緒に考えます。

第三部 ネットワーキング 15:30～16:00（任意参加）

参加者間で名刺交換等、コミュニケーションを取っていただく時間です。

令和3年版犯罪白書によれば、令和2年、罪を犯して刑務所に入ってしまった女性の数は、1,770人、うち828人が再入者、つまり、社会復帰後に、また罪を犯してしまった人たちです。罪を犯して刑務所に入る人の男女比は8：1。罪を犯すことには性差があり、罪を犯してしまう女性は、社会の中でマイノリティと言えるかもしれません。

彼女たちが罪を犯してしまう背景には何があり、社会復帰するためには何が課題となっているのか。刑務所、少年院などで実際に彼女たちの支援に当たる職員と、一緒に考えてみませんか？

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、参加定員は20名、先着順とさせていただきます。

お申込みは事務局宛てメールにて、件名を「セミナー申込み」、本文に ①お名前 ② 所属 ③電話番号 を記載の上、送信ください。

応募締め切りは本年2月22日（火）までとさせていただきます。

皆様のご応募、お待ちしております！

※ 今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、延期・中止等させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

~~~~~

## 2 再犯防止・更生支援ワード解説コーナー Vol.3

「犯罪白書」「再犯防止推進白書」ってご存じですか？

再犯防止・更生支援の分野における「ワード」を解説していくこのコーナー、第三回は法務省を代表する白書である「犯罪白書」そして「再犯防止推進白書」を紹介します。

\* \* \*

まず「犯罪白書」、こちらはご存じの方も多いのではないのでしょうか。毎年法務省が発行している、我が国で起きている犯罪・少年非行の動向を、豊富かつ詳細な統計データで紹介するとともに、検察、裁判、矯正、保護の各段階における犯罪をした者への処遇や、犯罪被害者への支援状況なども掲載しているほか、特集記事では、その年その年で、刑事政策上注目されている犯罪類型などを取り上げて深掘りしている、読み応え抜群の白書となっています。

令和3年版の特集記事は、昨年我が国で行われた「京都コンGRES」、そして「詐欺事犯者の実態と処遇」となっており、近年大きな問題になっている「特殊詐欺」事犯者の特別調査により、その実態に迫っています。

そして「再犯防止推進白書」。こちらは、平成28年に制定された「再犯の防止等の推進に関する法律」に基づき、平成30年度から発行されている、比較的新しい白書となっています。

内容としては、平成29年に閣議決定された「再犯防止推進計画」に記載されている各施策の具体的な内容と、その進捗状況を記載することを中心しつつ、特集記事や豊富なコラムで、その年のトピックスとも言える再犯防止施策を紹介しており、更生支援に携わる方にはぜひ読んでほしい白書となっています。

この2冊の白書、書店でも売っていますが、なんと、法務省ホームページからPDFデータを無料でダウンロードいただけます！気になった方はぜひ↓のアドレスからアクセスしてみてください（※いずれも容量が大きいのでwi-fi 接続などでのダウンロードをおススメします）。

[https://www.moj.go.jp/hakusyo\\_index.html](https://www.moj.go.jp/hakusyo_index.html)（法務省の「白書」ページにジャンプします）

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

---

### 3 更生コラム「アスキザス」Vol.5 ～渋沢栄一～

急な坂がやにわにカーブしている。東京都北区の王子駅前から飛鳥山までの区間は、都電が一般道を走ることから撮影の名所になっている。ここからほど近い明治通りの滝野川1丁目の歩道脇に「滝乃川学園跡」の説明版がある。明治24（1891）年の濃尾地震で孤児となった女児たちを引きとり、「孤女学院」を設立したことに始まる。この中に知的障がいの子どもたちがいたことから、日本で初めての知的障がい児の福祉施設として滝野川の地に設けられた。

大正9（1920）年に学園は失火で死者を出す。創設者は廃止を決める。しかし、存続を願う声と集まった寄付金により再建される。「（創設者に）経営の労を省いて教育に専心させてあげたい」と間もなく、3代目の理事長に就任したのが、渋沢栄一である。渋沢は60年にわたり死去するまで運営に携わった。

生涯に500社以上の企業の創業や経営に関わった渋沢は「日本資本主義の父」といわれる。その一方で、600もの社会事業を手掛けた。「日本の福祉事業の創始者」でもある。

東京府知事の依頼を受け、日本初の公立救貧院である東京市養育院にも生涯にわたって深く関わった。明治維新の陰で、首都東京は荒廃していた。戊辰戦争や社会体制変革、災害などで社会基盤が揺れる状況にあった。江戸期に100万都市とされていたが、人口は50万人（明治2年）に激減した。その6割以上が困窮者といわれる。

養育院の実情を見て、渋沢は驚く。子どもも老人も病人もいっしょに收容され、100畳ほどの部屋に100人以上が詰め込まれていた。子どもたちの多くは捨て子で、笑ったりせず泣きもせず、無表情だった。養育院は、困窮者を收容するだけの施設でしかなく、收容された人たちの更生目的もなかった。施設自体の維持運営の展望もなかった。

渋沢は、松平定信を尊敬していた。自ら「楽翁公伝」という書物を書いている。「楽翁」は定信の隠居後の号である。社会復帰のための更生施設である人足寄場などを作った定信の社会貢献事業に倣った。病人や老人のために近代的な診療設備を整備した。わらじ作りなど手に職をもたせる職業訓練所を設け、社会復帰を支援した。子どもたちには学問所を作り知識を身に付けさせた。今のセーフティネットに通じるのではないか。

新しいビジョンを持ち、弱者救済や保護にとどまっていなかった。「弱者を救うのは必然のことであるが、…なるべく直接保護を避けて防貧の方法を講じたい」と渋沢は述べている。救貧より防貧。自立を促すのが渋沢の思想だった。誰一人取り残さない（インクルーシブ）社会の姿を描いていた。

養育院には廃院の危機があった。東京府議会に廃止案が提案された。「税金で貧民を助けることは情民を増やすだけだ」という批判である。結局、東京府直営制は廃止が決まる。そこで渋沢が選んだのは、自治体に依らない企業の社会貢献によるサステナビリティだった。養育院の所属は東京府のままに、私設運営の委任経営の道を選択した。資金は民間企業からの寄付などで賄ったのだった。

渋沢の講演や談話をまとめた「論語と算盤」がある。論語は道德・倫理の象徴であり、算盤は経済活動を表す。渋沢は経済と道德の融合を説いた。これが世界を見た渋沢がつかんだ思想だったのではなかろうか。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

### 4 お知らせコーナー

「関東更生支援ネットワークの愛称募集について」

前号、前々号でも紹介させていただいた、関東更生支援ネットワークの「愛称」募集については、非常に残念ながら、応募数のごく少数にとどまってしまったため、今回、審査に至りませんでした・・・。

ちょっと時期尚早だったかな、と担当者一同反省しております。

しかし、これで終わりではありません！

機を見て、また募集したいと考えております。

その日まで皆様、今しばらく、お待ちください！

\* \* \*

このお知らせコーナーでは、会員の皆様からも、セミナーや研修会の開催情報など、他の会員にお知らせしたい情報を募集しております。

再犯防止・更生支援に関連して何か耳寄りな情報などありましたら、ぜひ事務局までお寄せください。本コーナーへの掲載を検討させていただきます。

~~~~~

最後まで読んでいただきありがとうございました。

本メールマガジンの配信を止めたい方は、事務局（下記連絡先）まで、件名に「アスワ配信停止」と記載したメールを送信してください。本文の記載は不要です。

関東更生支援ネットワーク事務局 東京矯正管区更生支援企画課

Mail : 1.toukyoukyousei.j7u@i.moj.go.jp

会員の皆様からのご意見・ご感想もお待ちしております！

~~~~~